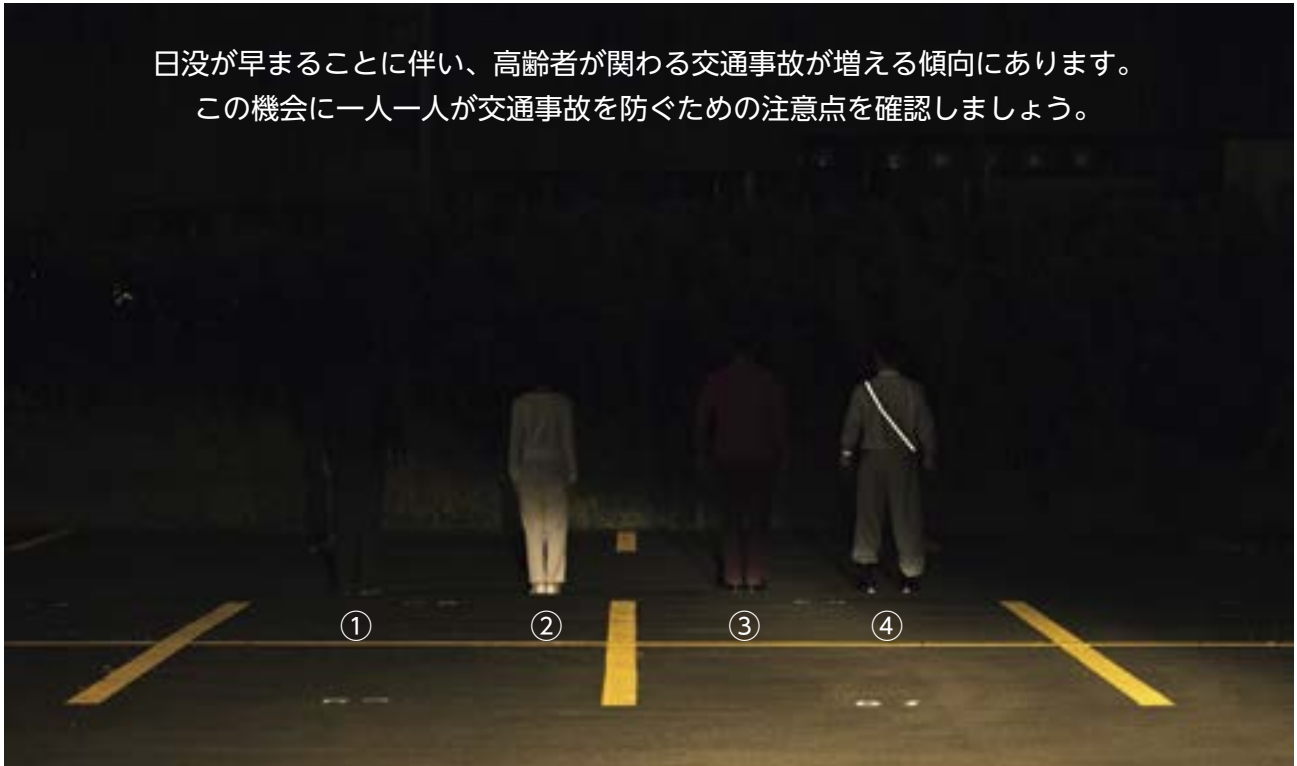


交通事故に遭わない、起こさない

～ 10月は「高齢者交通事故防止月間」です～

■問合せ…市民安全課 (☎025-526-5111、内線1461)

日没が早まることに伴い、高齢者が関わる交通事故が増える傾向にあります。
この機会に一人一人が交通事故を防ぐための注意点を確認しましょう。



交通事故に遭わない

【歩行編】



夜間に外出するときの注意点

○ 反射材を活用しましょう

上の写真では、左から順に①黒い服、②白い服、③赤い服、④反射材を着用した人が並んでいます。30メートル手前から車のライトを下向きにして歩行者を照らしたときに、一番よく見えるのは反射材を着用した人で、黒い服の人は全く見えません。慣れた道や近所であっても、夕暮れから夜間に外出するときは、白っぽい服装を心掛け、反射材を身に付けましょう。

反射材の種類



道路を横断するときの注意点

○ 横断歩道を渡りましょう

年齢とともに歩く速度が落ち、道路の横断に時間が掛かるようになります。横断歩道がある場所やその付近では、必ず横断歩道を渡りましょう。

交通事故を起こさない

【運転編】



車を運転するときの注意点

○ 事前に危険を回避しましょう

- ・ 車に高齢者マークを貼り付ける
- ・ 夜間や雨の日の運転を控える
- ・ 狭い道避ける
- ・ 夕方は早めにライトを点灯する
- ・ 安全装置*のついた車（サポカー）を運転する

*安全装置：「衝突被害軽減ブレーキ」や「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」など、高齢ドライバー特有の事故を防止したり、被害を軽減したりする装置。

CHECK!

自分の運転を確認して、次の項目に当てはまれば、それは事故の前兆です。

事故を起こす前に家族と話し合い、運転免許の返納や運転の機会を減らす生活を検討しましょう。

- 車庫入れの際にたびたび車をこする
- 車の流れにうまく乗ることができない
- 走行中、センターラインに寄ってしまう
- カーブをスムーズに曲ることができない

